

《西洋哲学史》

图书基本信息

书名：《西洋哲学史》

13位ISBN编号：9784004310082

10位ISBN编号：4004310083

出版时间：2006-9-20

出版社：岩波書店

作者：熊野純彦

页数：292

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《西洋哲学史》

内容概要

はたして、「神は死んだ」のか。言葉はどこまで「経験」を語りうるか。デカルト以降の西洋哲学は、自然科学的世界観の生成と交錯しつつ、思考の可能性と限界を見さだめながら展開してゆく。前著『西洋哲学史 古代から中世へ』に続き、テクストの集積の中に「考えること」を経験させる、新鮮な哲学史入門。

《西洋哲学史》

作者简介

熊野/純彦

1958年神奈川県に生まれる。1986年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。専攻は倫理学、哲学史。東京大学助教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

《西洋哲学史》

書籍目録

自己の根底へ 近代形而上学 ノザ	無限な神の観念は、有限な「私」を超えている デカルト 存在するすべてのものは、神のうちに存在する スアレス、マールブランシュ、スピ
経験論の形成	経験にこそ、いっさいの知の基礎がある ロック
モナド論の夢	すべての述語は、主語のうちにすでにふくまれている ライプニッツ
知識への反逆	存在するとは知覚されていることである バークリー
経験論の臨界	人間とはたんなる知覚の束であるにすぎない ヒューム
言語論の展開	原初、ことばは詩であり音楽であった コンディヤック、ルソー、ヘルダー
理性の深淵へ	ひとはその思考を拒むことも耐えることもできない カント
自我のゆくえ テ、シェリング	私はただ私に対して存在し、しかも私に対して必然的に存在する マイモン、フィヒ
同一性と差異	生命とは結合と非結合との結合である ヘーゲル
批判知の起源 ーチェ	かれらは、それを知らないが、それをおこなっている ヘーゲル左派、マルクス、ニ
理念的な次元 レーゲ	事物は存在し、できごとは生起して、命題は妥当する ロッツェ、新カント学派、フ
生命論の成立	生は夢と行動のあいだにある ベルクソン
現象の地平へ	世界を還元することで獲得されるものは、世界それ自体である フッサール
語りえぬもの ユタイン、レヴィナス	その書は、他のいっさいの書物を焼きつくすことだろう ハイデガー、ウィトゲンシ

精彩短评

1、一般般

《西洋哲学史》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com